



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。
震災から間もなく9年を迎えようとしております。県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は復興への歩みを着実に進めてまいりました。
一方で、今もなお、多くの方々が避難生活を続けておられるほか、急激な人口減少、さらには、台風第19号等の大雨による甚大な

福島県知事
内堀雅雄

夢と希望をつなぐための挑戦

被害が発生するなど、本県は、二重・三重の困難を抱えております。

県といたしましては、引き続き、危機意識とスピード感を持って、これらの重い課題からの復興と地方創生に取り組んでまいり決意であります。

まず、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と生業の再生を始め、廃炉・汚染水対策、鳥獣被害対策など、一人でも多くの方に安心して帰還いただけるよう生活環境の整備を進めてまいります。

また、台風と大雨災害からの復興につきましても、被災箇所の復旧に全力を挙げ、被災された方々が再び前を向いて歩み出せるよう、引き続ききめ細かく対応してまいります。

さらに、浜通りの産業基盤と雇用回復を図るべく進めている国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」の効果を全県に波及させるとともに、農林水産業や商工業などの既存産業についても、人材の確保・育成を始めとした総合的な支援に努めてまいります。

次に、人口減少対策につきましては、子育て世代や若者の雇用の場を確保するなど、安心して結婚・出産・子育てができる環境を充実させることが重要です。引き続き、保育の受け皿確保や医療・福祉・介護の人材確保・育成、全国に誇れる健康長寿県を目指す取組を進めていくほか、定住・二地域居住を始め、本県が持つ可能性、魅力、強みをいかした「福島ならではの」地方創生を推進するなど、幅広く取組を展開してまいります。

今年の7月には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。皆様と共に、これまでの御支援に対する感謝の思いと、復興が進む福島姿と魅力を国内外に広く発信できるよう、関係の方々々と力を合わせて準備を進めてまいります。

今年は復興・創生期間の最終年度を迎えます。これからも常に危機意識を持って職務に臨み、県民の皆様、そして国内外の福島に心を寄せてくださる全ての皆様と「共働」しながら、次の世代に夢と希望をつないでいけるよう全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

低炭素社会実現へ リニューーアル推進

令和2年 年頭のごあいさつ



一般社団法人 福島県空調衛生工事業協会
会長 松原 兼一

地域に根差し地域のために

魅力ある建設産業目指して

明けましておめでとうございます。会員の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、つつがなく新春をお迎えのことと

心より喜び申し上げます。東日本大震災から9年目を迎へ、復興・創生期間意識の高揚と地域防災活動の取り組みを強化し、災害時の速やかなインフラ等の復旧に備えたいと

我々協会においても、引き続き、新エネルギー！再生可能エネルギー！導入等、低炭素社会実現に向けたさらなる省エネを推進するために、省エネ・省資源に適合した空調衛生設備機器へのリニュー

アル、そして運用改善等への積極的な推進に向けても取り組んで参ります。

私たちの快適な生活環境を支えているのが、空調と設備・給排水衛生設備の高度な技術です。未来に向けて様々な環境技術を駆使し、顧客に良質で満足のいく設備の提供を最大の目的として業界の地位向上・発展に努めて参ります。

皆様には本年も一層のご指導とご協力を願ひ申し上げます。益々のご隆盛とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



発行所
一般社団法人福島県
空調衛生工事業協会
発行人 松原 兼一
〒960-8021
福島市霞町9-23
(福島管工事会館)
電話(024)526-2036

謹賀新年
初春のお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願いいたします。
一般社団法人
福島県空調衛生工事業協会

◆31日に新春講演会、
賀詞交歓会 県総合設備
協会(大槻博太会長)は
31日午後5時半から、福
島市のウェディングエル
ティで令和2年新年賀詞
交歓会を開く。

賀詞交歓会に先立ち午
後4時から新春講演会。
新関永興土木部建築担当
次長を招き「再生可能エ
ネルギー先駆けの地を目
指して」をテーマに講話
を聴く。

適切な工程管理を

日空衛と国交
省が意見交換

日本空調衛生工事業協会(日空衛、黒田英彦会長)は、昨年12月13日に開いた国土交通省との意見交換会で、働き方改革のさらなる推進に向け、「適正な工期設定」に加え「適正な工程管理」の実施を求めた。設備工事など建築工事の後工程への負担軽減とともに、工期が延伸した際の追加経費の適切な積算を要望した。国交省はワンデール・スポンスの実施などと合わせ、工期延伸による経費の増加をモニタリングし、実態とのかい離の解消に取り組んでいく考えを示した。

また建設キャリアアップシステムの普及に向けて、就業履歴の蓄積が賃金確保につながるというシナリオを明示するよう訴えた。国交省は4段階の能力評価を定着させ、それぞれに応じた処遇目標が整えば賃金の相場観の形成につながるのを見方を示した。その上で各専門工事業がその金額を上位の注文者に請求し、元請が尊重するという流れを根付かせることが必要だと回答した。

人・街・未来へ

株式会社 小泉東北

代表取締役 野澤 隆一

本社 〒963-8041

福島県郡山市富田町愛宕前47-1

TEL024(952)1211(代)

仙台営業所

TEL022(372)7002(代)

会津営業所

TEL0242(32)9811(代)

石巻営業所

TEL0225(25)7445(代)

仙台南営業所

TEL022(797)7081(代)

福島営業所

TEL024(572)3699(代)

株式会社 小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5

TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社

富士機材株式会社

■郡山支店■

〒963-0725

郡山市田村町金屋字下夕川原167-4

TEL(024)941-3621

■いわき支店■

〒972-8316

いわき市常磐西郷町銭田107-15

TEL(0246)72-1571

TOTO

代理店

タカムラ
TAKAMURA

〒960-0180

福島市鎌田字卸町13番地の5

TEL(024)553-1464代

営業所

福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・取手・宇都宮・さいたま
アルテック・未来工房

水道資材総合商社

DAI SAN

太三機互株式会社

本社 〒104-0061

東京都中央区銀座1-19-15

TEL(03)3561-8761代

●福島営業所

福島市八木田字榎内23

TEL(024)546-3101

●いわき営業所

いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA
SYSTEM

郡山 S C (024)945-2105

会津若松 S C (0242)23-1122

いわき S C (0246)24-2266

福島 S C (024)535-0201

白河 S C (0248)27-2911

元気で快適な生環境を提案する企業です。

渡辺パイプ株式会社

安全・安心な建築物整備、再エネ・省エネ推進

県土木部建築総室 2020年度事業展望

新しい年を迎え、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。
皆様には日頃、本県の建築行政の推進に對しまして、格段の御協力をいただき厚く御礼を申し上げます。
また、この度の台風第19号等による県有建築物の被災に際しては、「大規模災害時における応急対策の応援に関する協定」に基づき、迅速に御対応していただき重ねて御礼を申し上げます。
東日本大震災からの福島復興はまだ途上ですが、公共インフラ等の復旧・整備や避難指示解除に向けた復興・地方創生を支える拠点施設の整備などが進展し、その成果が着実に形となって現れてきております。
一方で、台風第19号等による甚大な被害が発生し、被害の早期復旧と被災者の生活再建への支援が急務となっております。
建築総室としては、引き続き復興公営住宅の適正管理や被災者の住宅再建への支援等を行うとともに、震災・原子力災害からの復興や地方創生の拠点施設として、「東日本大震災・原子力災害伝承館」「福島県立医科大学保健科学部」「福島県立こころの医療センター」などの整備を計画的に進めてまいります。また、台風等で被災した県営住宅等の

早期復旧に全力で取り組むとともに、被災者の住宅再建への支援を講じてまいります。さらに、人口減少対策として、移住や多世代同居のための住宅取得や子育て環境を向上させる空き家改修等への支援を進めてまいります。
今年7月には、「東京オリンピック・パラリンピック大会」が開催されます。本県では、野球・ソフトボールの競技会場となる県営あづま球場の改修工事がほぼ完了し、復興五輪に向けた準備が着々と進んでおります。引き続き、関係団体の皆様と力を合わせ、大会の成功に向けて取り組んでまいります。
また、県有建築物の整備におきましては、「再生可能エネルギー先駆けの地」の実現を目指し、「福島県再エネ・省エネ推進建築物整備指針」等に基づき環境負荷の低減を図るとともに、ZEB化を普及・促進してまいります。
今年は復興・創生期間の最終年度を迎えます。今後とも会員の皆様と「共働」しながら安全で安心できる建築物の整備や管理を進め、活力と思いやりのある地域社会の実現に向け、様々な課題へ全力で挑戦し、スピード感を持って取り組んでまいりますので、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

環境市場をめぐる動向を学んだ特別技術講習会



環境市場の動向学ぶ
技術高度化に对应、特別講習会



講義する鎌仲氏（左）と佐藤氏

当協会は昨年9月25日、福島市のアオウゼで

今年度の特別技術講習会「写真」を開いた。高度化、多様化する建築設備の施工技術を身に付けるため、技術委員会事業として例年開いているもの。設備機器メーカー担当者から、設備機器や環境市場をめぐる動向について講義を受けた。会員企業の技術者ら32人が受講した。
初めに渡邊勝彦技術委員長が「勉強の成果を社

内では共有し、今後の業務に生かしてほしい」とあいさつした。
講習会は2部構成。第1部はダイキンHVACソリューション東北の佐藤誠徳テクニカルサポート部長を講師に「フロン排出抑制法の概要」「R22冷媒の2020年以降の体制と考え方」について学んだ。
フロン排出抑制法は、代替フロンとして使われ

てきたHFC（ハイドロフルオロカーボン、R410Aなど）冷媒の増加と、その回収率低迷を背景に、フロン類の製造から廃棄までのライフサイクル全体にわたる包括的で抜本的な対策が取られるよう、フロン回収破壊法に代わって2015年4月に施行された。
従前のフロン回収破壊法が、業務用冷凍空調機器の破壊時における回収・破壊のみを義務付けていたのに対し、排出抑制法では、製品メーカーに製品の低GWP（地球温暖化係数）化、業務用冷凍冷蔵・空調機器の使用計画を立てて、GWP値

の低いR32を使用した機器への更新を図る機会としたいと説いた。
昨年6月の法改正で、管理者による管理義務が罰則付きで強化されるなどの動向も紹介し、施工や実際の管理を担う設備事業者としての対応を促した。
第2部は「ステンレス消火水槽付消火栓ポンプ」と次世代自動給水ポンプユニットについて、川本製作所マーケティング部東京開発技術課東北分室の鎌仲真也氏から説明を受けた。
同社の「ステンレス消火水槽一体型消火ポンプ

ユニット」は、グループホームや病院等での火災事故をきっかけにスプリンクラー設置が義務化された小規模な特定施設向け製品。消火水槽、ポンプ室を追加設置する際、課題だった①低コスト②省スペース③簡単施工、工期短縮④高いメンテナンス性等が課題だった。
給水ポンプの歴史と最新のポンプの説明も行った。小型軽量化等の進化はほぼ行き着いており、これからはIoTやAIを活用した運転管理の最適化等が課題だった。

県優良建設工事受賞工事概要

北関東空調工業、光和設備工業所

技術の証、2社知事表彰

県優良建設工事

県の優良建設工事表彰（給水管改修）寺前2階で今年度、当協会会員企業が施工した2件が選ばれ知事表彰を受けた。受賞者、受賞工事は①北関東空調工業②機械設備部門・ふたば未来学園特別教室棟外（空調）工事（広野町）②光和設備工業所②維持補修（建築・設備）部門・県有施設管理工事。表彰式には内堀知事、松崎浩司農林水産部長、松原文司県管工事協同組



内堀知事から表彰状を受ける北関東空調工業・有賀行秀代表取締役（上）と光和設備工業所・古川敏博代表取締役

県の優良工事表彰は、建設技術の向上発展と工事の安全な施工の確保を目的として、1967年度に創設されたもので、今年で51回目。今年度表彰は、昨年度完成した農林水産部243件、土木部1298件の工事から両部計30件が選ばれた。

【機械設備部門・ふたば未来学園特別教室棟外（空調）工事】
▼寸評＝双葉郡の教育環境を改善し、地域振興の核となる人材や全国・世界で活躍できる人材を育成するため、広野町に新築する中高一貫校の機械設備工事である。工事中の関連工事との取り合い調整や運用後の維持管理スペース確保のため、3D-CADにより配管、ダクト、機器類の納まり図を作成し施工したことにより、細部まで丁寧に仕上げられており、関連工事との綿密な調整による出来栄に工夫がうかがえる。透明継手による接着剤塗布不足の防止、配管のプレハブ化・小型軽量継手による接合部の省力化、シール付き継手による作業工程の短縮など、施工精度の確保と品質管理の創意工夫は高

く評価できる。作業工程の短縮および施工精度の向上のため、作業員講習により施工品質の確保を図ったこと、現場の連絡協議会で浄化槽による水洗トイレの設置や仮囲いのイメージアップなど、環境改善や周辺への配慮は評価でき、総合的に優秀性が認められる。
▼概要▽施工地＝広野町中央台一丁目地内▽工事内容＝特別教室棟新築に係る空気調和設備▽請負額＝3億3924万7440円
* *
【維持補修（建築・設備）部門・県有施設管理工事（給水管改修）寺前2階公舎】
▼寸評＝南会津町にある県職員公舎で、前回の給水管更生工事から28年経過し錆水が多く出ており、改善が望まれていたため、既存給水管の撤去・新設を行ったも

のである。併せて、給水管工事に付随する天井張り替え、照明器具の更新も実施している。施工においては、入居者がいる中での工事であったため各戸工事が終了ごとに社内検査を実施し、部分使用検査による対応で入居者への負担を最小限に抑えている。施工開始前に入居者説明会や、工事完了個所の内覧会を通じ、工事に対する信頼性確保に努めている。新設した水抜栓については、冬期間の水道管凍結に配慮し、電動式不凍水抜栓装置の設置を提案し採用に至っている。
▼概要▽施工地＝南会津町田島字寺前地内▽工事内容＝給水管、照明器具、天井改修8戸▽請負額＝1397万3040円

